

地域医療連携だより

高松市立病院
基本理念

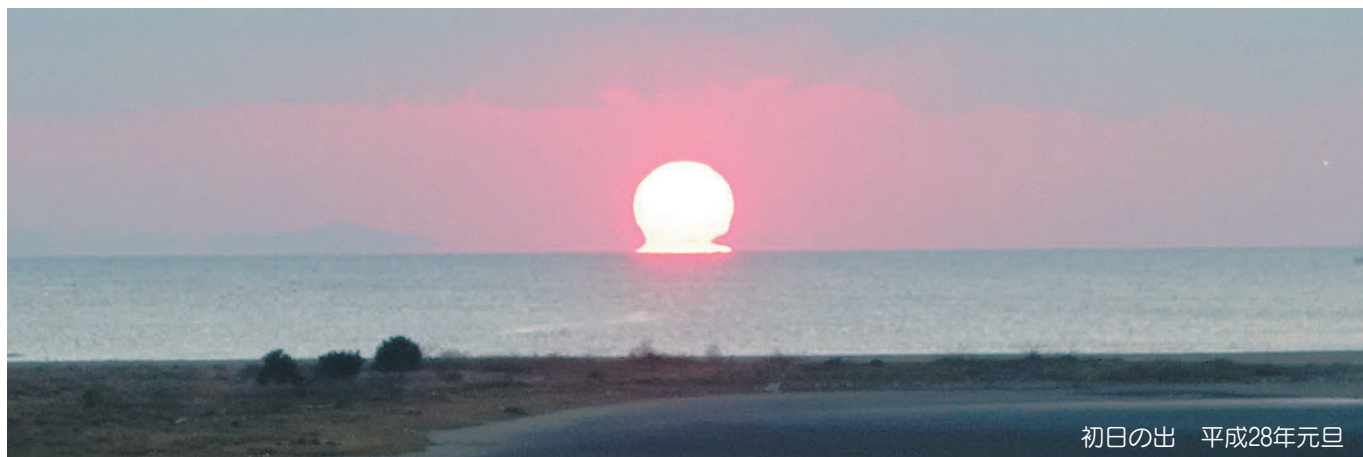
『生きる力を応援します』

高松市民病院
基本方針

- 1『リーディングホスピタル』として、高松市医療全体の最適化を目指します。
- 2『理想的な医療』を、ファインチームワークで提供します。
- 3『まごころのある医療人』を全力で育成します。

平成28年

1月号
〈第21号〉



初日の出 平成28年元旦

新年あけましておめでとございます。



新年の御挨拶

～新病院の本体工事着工～

高松市民病院院長 和田 大助

新年あけましておめでとうございます。

地域の医療機関の先生方には、日頃より病病連携、病診連携に御協力を賜りありがとうございます。改めて厚くお礼申し上げます。この「地域医療連携だより」も、お陰さまで順調に発行でき、各医療機関の先生方から御意見を頂戴しながら、少しずつ連携が進んでいるように思っています。

一昨年暮れには、かねてから当院の大きな目標でありました『地域医療支援病院』に承認されました。昨年一年間は、承認要件の一つである紹介率50%以上・逆紹介率70%以上も維持できており、これもひとえに地域の医療機関の先生方の御協力の賜物と思っ

ています。ありがとうございました。

遅れていた新病院の整備もようやく動き出し、開院時期は平成30年度前半と決定いたしました。昨年暮れには新築工事の入札も無事終了し、いよいよ本体工事に着手することになりました。今年は、新病院への飛躍の年にしたいと思っています。

予定通りに進めば、この地で診療をするのもあと2年余りとなります。新病院へスムーズに移行するためにも、今まで以上に質の高い医療を提供できるよう職員一同頑張っていく所存ですので、本年も引き続きよろしく願いいたします。

診療科紹介

呼吸器内科

岸本 伸人 河野 洋二

いつも患者さんの紹介・逆紹介ではお世話になっています。

当院呼吸器内科の紹介をさせていただきます。

当科は、岸本伸人（昭和59年卒）、河野洋二（平成16年卒）の2人体制で慢性期から超急性期までの診療にあたっています。地域の中核病院・地域医療支援病院として呼吸器内科が担う領域は広く、気管支喘息・COPD・間質性肺炎・肺炎・睡眠時無呼吸等の外来診療、呼吸器外科とチームで行う肺がん診療、HCUで行う急性呼吸不全に対する急性期医療等があります。また、院内・院外での教育や啓発活動等も行っていきます。

当院で行っている最近のトピックスとして気管支喘息への気管支サーモプラスティと急性呼吸不全・重症ARDSへの膜型体外式人工心肺を使用したECMOについて御紹介します。

1. 気管支サーモプラスティ*1

気管支サーモプラスティは、気管支鏡を用いた治療法です。気管支鏡に電極付きのカテーテルを挿入し、高周波電流にて65℃で10秒間気管支壁を温めることで、喘息の原因となる肥厚した気道平滑筋の量を健常人に近付け、気管支の収縮を抑制し、発作を起きにくくします。

治療は気管支を3つのブロックに分けて行われ、それぞれ約3週間空けて実施されます。所要時間は1回あたり約1時間で、当院では全身麻酔、2泊の短期入院で行われます。本治療の適応は18歳以上の高用量吸入ステロイド及び長時間作用型 β_2 刺激薬で喘息症状が抑制できない患者です。治療後は79%の患者が喘息関連のQOLが著しく改善し

たと報告されています。当院では中四国で初めてこの気管支サーモプラスティを導入し、現在2名の患者さんが治療を終了しています。大きな副作用はなく、劇的ともとれる改善をされています。今後、より安全に、適応のある患者さんに気管支サーモプラスティを施行し、喘息があるためにあきらめていることをなくすお手伝いができればと考えています。

*1 ポストン・サイエンティフィックジャパンより一部転載

2. ECMO

ECMOとは膜型人工肺を用いた機械的補助装置のことです。その中でもVV-ECMOとは、respiratory ECMOとも呼ばれ呼吸補助を目的とします。静脈より脱血し体外式膜型人工肺を用いて酸素と二酸化炭素を交換、再度静脈に送血を行い、呼吸不全の改善を行います。導入後、人工呼吸器管理は積極的肺保護を行い、原疾患治療の期間を確保することが可能となります。

PaO₂/FiO₂<100（100%酸素でPaO₂<100mmHg）で通常の治療では救命が困難な、非常に重症の急性呼吸不全の患者さんには適応を慎重に考え、積極的に施行しています。

約2年間で5例の患者さんにVV-ECMOを行い、3例の患者さんが救命されました。現在、本邦での救命率は36%と低く、より安全に行うために、合併症を管理することが求められています。

これから当院呼吸器内科は地域での呼吸器センターとして、慢性期急性期を問わず、より多くの患者さんを受け入れ、最適な、そして最新の医療を提供し続ける心構えでいます。今後とも御指導をよろしくお願い致します。
（文責 河野 洋二）



高松市立病院は、高松市民病院、塩江分院、香川診療所の3つで1つです。次号より、他の2施設のコラムを交互に掲載させていただくことになりました。今後ともよろしくお願ひします。

地域まるごと医療を実践する「塩江分院」



【高松市民病院塩江分院基本方針】

1. 市民とともに「地域まるごと医療」を実践します。
2. おもいやりの心で「正しく良質な医療ケア」を提供します。
3. ファインチームワークで「感動のある病院」を実現します。

高松市南部の中山間部に位置し、療養病床87床を有する分院では基本方針のもと、塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、住み慣れた自宅や地域で、家族の負担を軽減しながら安心して療養することができるよう各種訪問診療等の充実に努めています。



訪問医科診療



訪問歯科診療



訪問リハビリ



訪問看護

お問い合わせは ☎087-893-0031 事務局まで

住民参加型の医療を提供する「香川診療所」



【高松市民病院附属香川診療所基本方針】

1. 「住民参加型の医療」を提供します。
2. 「心で診て、言葉で癒す医療」に努めます。
3. 「笑顔で暮らせるまちづくり」に貢献します。

診療所では基本方針のもと、小児科、眼科の診療に加え、診療所内標榜としての総合診療科や、地域包括ケアを見据えた健康教室や出張講座の実施、患者との診療情報の共有を図る「わたしのかるて」の推進等、住民参加型医療の実践に努めています。



地域包括ケアとしての健康教室



子どもについての健康教室



お問い合わせは ☎087-879-2066 事務局まで

次回地域医療連携セミナー開催のお知らせ

日時 平成28年2月17日（水）午後7時～

場所 高松市民病院 西館2階 西会議室

演題 「私達が行っている術後鎮痛法について」 麻酔科 山口 由紀 医師
「当院における気胸の治療について」 呼吸器外科 加藤 歩 医師

※事前申し込みが必要です。

問い合わせ先：地域医療連携室 TEL:087-834-2181（代表） FAX:087-834-2223（直通）
日本医師会生涯教育制度の体験学習1単位カリキュラムコード（84, 42）を取得いただけます。

当日は、軽食を御用意しております。

一人でも多くの先生方の御出席をお待ちしております。



『クリスマス会』開催

12月9日（水）に玄関ロビーにて、クリスマス会を開催しました。クリスマス会は、患者サービス向上委員会が入院・外来患者さんとその家族に心安らぐひとときを提供しようと、毎年開催している行事です。

前半には、当院放射線科の小濱医師によるカードやボールの瞬間移動等のマジックショーを披露し、おしゃべりも巧みで、医師というイメージと違った一面を見ることができました。後半には、県内の演奏家グループ「アプマーシュ」の4名の方たちによる「ジングルベル」「恋人たちのクリスマス」等のクリスマスソングのほか演歌等の楽器演奏があり、患者の皆さんは配られた手作りのマラカス等を手に、しばしの闘病生活を忘れ、思い思いの楽しみ方をしておられました。

今後も、患者さんやその家族の“生きる力”を最大限に引き出せるよう、患者サービスに取り組んでまいりたいと思います。



『医療・介護関連施設職員研修会』開催



第20回 医療・介護関連施設職員研修会を通して

11月25日（水）に『下肢の血流改善について』の演題にて、当院理学療法士より33名の施設職員の方に講義を行わせていただきました。当日行ったアンケート調査より、「寝たきりの方、むくみの強い方が多いので、静脈還流を促せるようにストレッチを行いたい」「回数にとらわれずに可動域訓練をしていきたい」「ほんの少しの体位調整、運動により効果的に血流改善ができるよう工夫したい」等多数の御意見をいただくことができました。御参加ありがとうございました。



第21回 医療・介護関連施設職員研修会を通して

12月2日（水）に当院院長補佐兼外科診療部長より『最近のがん化学療法について』、薬剤師より『内服抗がん剤の取り扱いについて』、がん化学療法看護認定看護師より『療養生活の支援について』の3題について、9名の施設職員の方に講義を行わせていただきました。当日行ったアンケート調査より、「抗がん剤治療を受けている利用者の日常的な状態をしっかり把握しケアに努めたい」「介護スタッフにも認識が必要であり、内服に関しては今後実践したい」等多数の御意見をいただくことができました。御参加ありがとうございました。